Sports & Recreation
いたスポ
in ITABASHI

いたばしスポーツ推進委員だより１２２号

平成３０年１２月１日

編集　板橋区スポーツ推進委員協議会
発行　板橋区区民文化部スポーツ振興課
TEL　３５７９－２６５２

第28回スポーツ推進委員協議会主催
栃木県日光市
戦場ヶ原ハイキング
10月6日（土）

上段：幻の小田代湖（手前）と貴婦人（写真中央後方の白樺）　　下段：紅葉と参加の皆さん

当日の現地天候は、晴天、最高気温17℃。絶好のハイキング日和となりました。すでに紅葉も始まっており、一部の木々が赤や黄色に色づいていました。

戦場ヶ原の西側にある湿原地帯の小田代ヶ原（おだしろがはら）では、7年ぶりに幻の小田代湖も出現し、ミズナラの林の中に1本だけ生えている白樺の木、小田代ヶ原の「貴婦人」も白く輝いて、見どころの多いハイキングとなりました。

ハイキングのゴールは、奥日光を代表する日光三名瀑（にっこうさんめいばく）の一つの竜頭ノ滝（りゅうずのたき）でした。竜頭ノ滝では、ハイキングの疲れも忘れ、滝の迫力に見入っておりました。

各地で甚大な被害をもたらした台風24号ですが戦場ヶ原でも湯川上流部で一部木道が流失した被害があったとの事です。

昼食休憩も含め所要時間約5時間でハイキング全行程を無事に終了しました。

今回は、平たんなコースを散策するハイキングでした。来年も参加者の皆さんから頂いたアンケートを参考にさせていただき、今回同様、いえそれ以上に楽しんでもらえる様な場所・コース選定を考えて参ります。

来年も皆さんと再会できることを楽しみにしております。

第71回区民体育大会総合開会式
9月2日（日）

板橋区民のスポーツの祭典、第71回区民体育大会総合開会式が小豆沢体育館で開催されました。

国旗、区旗を先頭に、個人・団体の被表彰者団（板橋区スポーツ功労者・体育協会功労者）が続き、その後を32団体の選手団がそれぞれの競技のユニフォームに身を包み、堂々と入場行進をしました。

選手団の整列後、開会宣言を皮切りに、優勝杯返還などのセレモニーが行われました。

私たちスポーツ推進委員は、会場周辺での来場者への案内、来賓の受付、会場内での案内や表彰式の準備等、会場内外の様々な場所で式の円滑な進行に尽力しました。

来年3月まで、各会場で熱い戦いが繰り広げられ、数々のドラマが生まれることが期待されます。

入場行進の様子

平成30年度東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会（第4ブロック）池袋ＩＫＥ・Ｂｉｚ　9月1日（土）

今回の研修は「地域スポーツ活動の推進に向けたスポーツ推進委員の関わり方」がメインテーマ、「ハンディキャップの有無に関わらず、誰もが参加出来る楽しめるスポーツを目指して」がサブテーマでした。

第1部は、2016年のリオデジャネイロパラリンピック競技大会の水泳50メートル自由形で銅メダルを獲得した山田拓朗さん（ＮＴＴドコモ所属）のトークイベントでした。生まれつきの左腕のハンディを物ともせず3歳で始めた水泳を続け、3度目のパラリンピック競技大会出場で見事メダル獲得された経歴をユーモアを交えて話されました。

第2部は立教大学副総長でコミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科教授の松尾哲矢先生による講演と、中野、練馬、板橋、杉並、豊島の各区の「障がい者スポーツ」の取組についてのパネルディスカッションがありました。「これからのスポーツ推進委員の役割として重要なのは、スポーツへの多様で円滑な導入と継続、そしてコミュニティづくりという、地域スポーツの良い循環づくりを行うことだ」と松尾先生は強調されました。

発表する藤田事業部長（中央）

関東スポーツ推進委員研究大会
6月8日（金）9日（土）

平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会東京大会が墨田区で開催されました。

本大会は、1都8県（関東・山梨県及び長野県）の各市区町村約二千人のスポーツ推進委員が一同に集結しました。

今回のテーマは『スポーツが未来を変える』「～一億総スポーツ社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割～」です。第1日目は全体会で開会式や「スポーツ参画人口の拡大に向けて」というテーマでシンポジウムが開催されました。

第2日目は第2分科会に参加しました。

内容は「スポーツからアクティブライフへ」～身体活動の習慣化に向けて～でした。

働く世代の運動不足解消の取り組み事例や地域密着型スポーツ活動をどのように形成・発信するか等興味深いセッションが行われました。

この研究大会で学んだ内容を参考に板橋区のスポーツ活動の向上に寄与できればと考えております。

第２分科会の講演風景

第43回 板橋区・高島平ロードレース大会
10月21日（日）

秋晴れの下、板橋区・高島平ロードレースが日本陸上競技連盟公認の5㎞周回コースで開催されました。5㎞、10㎞、20㎞の種目には、全国から箱根駅伝や実業団で活躍する選手など1440名のエントリーがありました。ゲストランナーとして川内優輝選手、神野大地選手も加わり大会が盛り上がりました。私たちスポーツ推進委員は、選手受付、表彰、走路員として毎年この大会をお手伝いしています。沿道を埋め尽くす応援の方々に後押しされ、選手の皆さんが力走する姿を間近に見ながら心を打たれました。

表彰式で介添えする委員

第38回障がい者スポーツ大会
9月29日（土）

大型で強い台風24号が迫る中、小豆沢公園野球場で開催されました。厚い雲に覆われたあいにくの天候でしたが、開会式に続き聖火リレーで6名のランナーが颯爽とグラウンドを回る姿はとても感動的でした。天候不順のため、プログラムが繰り上げられ、選手待望のパン食い競争からスタート。沢山の選手が参加されパンと格闘しゴールを目指しました。スポーツ推進委員は集合係・スタート係・ゴール係・用具係等、ボランティアの人達と一緒に担当しました。わくわく動物ランド（玉入れ）で雨空となり、残念ながら大会は閉会となりました。

今期スポーツ推進委員となり従事しましたが、このような大会が盛大に開催されていることを初めて知りました。東京２０２０パラリンピック競技大会に向けて、来年は雲一つない秋晴れのもと更に盛大に開催される事を期待します。

聖火リレー

選手宣誓

ふるさといたばし体操

総合型地域スポーツクラブ PRIMULA
NPO法人 志村スポーツクラブ・プリムラ

プリムラ「卓球」サークル指導者の岩本清太郎さんが板橋区よりスポーツ功労者表彰を受賞しました。プリムラでの活動が評価されての受賞は初めてのことです。

スポーツは年代別に分けられてしまいがちですが、プリムラの卓球サークルでは年代を問わず、中学生から８０歳代までが一緒に活動をしています。プリムラの趣旨≪子どもからシニアまで誰でも参加！≫が具現化された良い例でしょう。年代毎に横に並んでいるスポーツを縦に繋ぎたい。もちろん体格や体力を考慮して安全にそのスポーツを楽しめる範囲内でのことです。

小・中学生時代にプリムラのサークルに参加していた子ども達が、高校・大学・社会人とスポーツを通じて大人になり、プリムラへ返ってくる人が出始めました。彼らが結婚し子ども達と家族で、それぞれの種目を楽しむようになれば多世代、多種目のクラブが出来上がるのではないかと思います。

まだまだ道半ばですが、皆さんの後押しを受けて目標に向かっていきます。

ＮＰＯ法人志村スポーツクラブ・プリムラ
理事長　浅見宗弘

Topics
初級障がい者スポーツ指導者講習会に参加して

障がい者スポーツについて、知識・法律を座学で学び、実技体験として、車いすバスケットやブラインドサッカーを行なうなど、障がい者のスポーツに対する姿勢全般を学ぶ良い機会でした。昨今、学校や社会では、子どもや大人の発達障がい者を支援する動きが加速しており、障がい者スポーツに係わる機会は意外に多いことに気付かされました。

スポーツをする楽しさや勝負にこだわる気持ち、勝った時の高揚感は皆一緒です。スポーツは、必死で戦っている選手だけではなく、応援する人も選手をバックアップする人も、スポーツに参加していると捉えることが大切であることも学びました。

世界は、東京２０２０大会で日本のノーマライゼーション社会をどのように評価するでしょうか。

先日、駅で「お手伝いしましょうか。と、勇気を出して声を掛けてください。」とのアナウンスに、胸がほっこりしました。東京２０２０大会のレガシーの一つは、温かいノーマライゼーション社会の確立であり、お互いを理解する心だと思いました。（島村）

地域コミュニティーのために

スポーツ推進委員は青少年健全育成地区委員会や町会の理事や実行委員としても地域の事業や行事に関わっています。
6ブロック・18地区を30年度・31年度の2年間で各地区のスポーツ推進委員が関わるスポーツ行事等を紹介しています。

志村坂上地区

毎年6月第3週の土曜日に小豆沢体育館で当地区内の小学校4校対抗で綱引き大会を開催しています。

各学校から低学年、中学年、高学年でチームを結成し試合に臨みます。綱引きはルールも分かりやすい競技なので子供たちにも親しみやすく、毎年大盛況です。頑張って練習してくるチームには、負けると悔しくて泣いている子もいます。悔しい気持ちが残る子は、次回リベンジで優勝目指して再チャレンジしています。

学校対抗となるので各学校の校長先生をはじめ観客席からの応援にも力が入ります。

スポーツ推進委員は、準備体操の「ふるさといたばし体操」を参加者の皆様と行い、審判活動をメインに行っています。これからも青少年健全育成の活動と地域活性化に努めて参ります。（松川）

中台地区

今年度、初めてのキンボール交流会を6月24日に行いました。数年前から夏休み野外活動や地区内の小学校の寺子屋などでキンボールをする活動もあり、たくさんの子どもが参加してくれました。ウォーミングアップとして、大きなボールで遊び、その後4人ずつチームを組んで試合を行いました。

キンボールはカナダ発祥のニュースポーツで試合中に用いるかけ声「オムニキン」は「オムニ」全てのという意味。「キン」はキネスシス（運動感覚の略語）で「全ての人が楽しめるスポーツ」という意味です。

キンボールは4人いればチームが作れるという事や、チームの4人がボールに触れていないと試合が続かないなど、チーム内のコミュニケーションも必要で初めて参加の子どもたちも経験している子どもたちもみんなで楽しい時間を過ごしました。（菅原）

成増地区

10月27日(土)に今回で2回目となる成増地区ウォークラリー大会が、成増小学校を起点に開催されました。

参加者はふるさといたばし体操をしてから、各町会長などに見守られて元気にスタートし、全チーム無事にゴールしました。ゴール後には温かい豚汁がふるまわれ「美味しい」と大好評でした。

スポーツ推進委員と青少年委員でコマ地図を何度も作り直し、下見を重ね当日各係に分かれて運営にあたりました。

この大会は、各町会や自治会・小学校・小学校のおやじの会・ジュニアリーダー等大勢の方のご協力により成り立っています。

アンケート結果では、また参加したいという意見が多数でした。次回も皆さんに喜んでいただける地域に密着したウォークラリー大会にしていきたいと思います。（中元）

第4回青少年委員との交流会

6月17日、梅雨の曇り空の中、恒例の青少年委員との交流会が、板橋第五中学校体育館で開催されました。今年度のスポーツ種目は、「ボッチャ」と「ワンバウンドふらばーるバレー」です。両種目とも過去交流会で行ったことのある種目でしたので、最初から好プレー、迷プレーの連発で、白熱した交流会となりました。

準備段階で多少のハプニングはあったものの、大きな怪我等もなく、盛況に終わりました。その後、会場をグリーンホールへ移しての表彰式（懇親会）、さらに盛り上がったことは言わずもがなです。

訃報

8月に桜川地区の田村政則委員が逝去されました　長年の功績に感謝いたします

お知らせ

■第27回区民ドッジボール大会
2月10日（日）小豆沢体育館

■2019板橋Cityマラソン
3月17日（日）荒川河川敷内特設会場板橋Cityマラソンコース

編集後記

今期は「地域コミュニティーのために」を復活させ、各地区でスポーツ推進委員が関わっているスポーツ行事を紹介しております。

今後も我々の活動を知って頂くため充実した紙面をお届けします。

来年も宜しくお願いいたします。